



関東バトンニュース

日本バトン協会関東支部
〒362-0808 葛飾区新小岩1-42-11-304
03(5879)6466

関東から優勝20組、世界へ3人
全日本に290人出場

日本一のバトントワラーを決める、全日本バトントワラーリング選手権大会が3月26-28日、大阪市の丸善インテックアリーナ大阪で行われ、関東から290人のトワラーが出場した。今年には新型コロナウイルス感染拡大を受け、昨年中止された大会も1年前の年齢区分で行われた。関東のトワラーは5大会合わせて16人とペア4組が優勝。来年8月にイタリア・トリノで行われる「世界バトントワラーリング選手権大会」の代表にも3人が選ばれ、各選手が優勝の喜びや世界大会に向けた意気込みを語った。

選手コメント(種目の「緊張感」)
あの時の重気持ちで過ぎました。
あとの日は日本代表、⑤ 庄 “あの時の高揚は第45回は全日本バト感”
：など、懐かしい



選手権優勝、⑥は同第46回、①は第1回ジュニア選手権優勝、②は同第2回)
駒田圭佑(自由が丘バトンクラブ、ダンストワイル、⑤⑥)
5年ぶりに出場した全日本選手権は、あの時の感覚 “あの時の

当時よりも今回は、『自分のために』と強く思っただけで大会でした。
まだまだだな...、と思えることに幸福感を感じます。コロナ禍で大会を開催してくださった、協会の皆様に、この場をお借りして、感謝いたします。

森永楓花、中川歩来(大越多美子・バトン・スタジオ、ペア、②)
森永 とても緊張しましたが、ふたりで息を合わせて楽しく踊れた

高橋歩暖(大越多美子・バトン・スタジオ、フリースタイル個人/ダンストワイル、⑤①)
今年はいよいよ、練習ができること、大会が開催されること、前代未だの喜び、感謝の気持ちで演技に臨みました。



瓜生陽花(BLUE Twinkle、ソロトワイル、①②)
全日本選手権大会を開催して下さったみな様、本当にありがとうございます。コロナがとうとう大きくなりました。久しぶりの大きな大会でとても楽しかったです。緊張しすぎた私、名前のANAの思いを込めて、最高の演技を磨きたいです。
またこの舞台で演技できるような最高の演技を磨きたいです。



私、ANAの名前の思いを込めて、最高の演技を磨きたいです。